

**新規・更新・等級変更**（該当する項目を○で囲んでください。） **診断書（精神障害者保健福祉手帳用）**

フリガナ 氏名		生年月日	大正・昭和 平成・令和	年	月	日（歳）
住所						

**① 病名（ICDコードは、下記の病名と対応するF00からF99まで又はG40のいずれかを記載してください。）**

(1) 主たる精神障害 \_\_\_\_\_ ICDコード ( )

(2) 従たる精神障害 \_\_\_\_\_ ICDコード ( )

(3) 身体合併症 \_\_\_\_\_ 身体障害者手帳（有・無、種別 \_\_\_\_\_ 級）

**② 発病から現在までの病歴並びに治療の経過、内容（発病状況、初発症状、治療の経過、治療内容等を記載する。）**  
（推定発病時期 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月頃）

※器質性精神障害（認知症を除く。）の場合、発症の原因となった疾患名とその発症日  
（疾患名 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日）

※初診年月日	主たる精神障害の初診年月日 _____ 年 _____ 月 _____ 日
	診断書作成医療機関の初診年月日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

（※本診断書に係る申請には主たる精神障害の初診年月日より6カ月以上の経過が必要）

**③ 治療歴**

医療機関名	治療期間(年・月)入院・外来	医療機関名	治療期間(年・月)入院・外来
	・ ～ ・ 入・外		・ ～ ・ 入・外
	・ ～ ・ 入・外		・ ～ ・ 入・外
	・ ～ ・ 入・外		・ ～ ・ 入・外

**④ 現在の病状、状態像等（該当する項目を○で囲んでください。）**

(1) 抑鬱状態 ①思考・運動抑制 ②易刺激性・興奮 ③憂鬱気分 ④その他 ( )

(2) そう状態 ①行為心迫 ②多弁 ③感情高揚・易刺激性 ④その他 ( )

(3) 幻覚妄想状態 ①幻覚 ②妄想 ③その他 ( )

(4) 精神運動興奮及びこん迷の状態 ①興奮 ②こん迷 ③拒絶 ④その他 ( )

(5) 統合失調症等残遺状態 ①自閉 ②感情平板化 ③意欲の減退 ④その他 ( )

(6) 情動及び行動の障害 ①爆発性 ②暴力・衝動行為 ③多動 ④食行動の異常 ⑤チック・汚言  
⑥その他 ( )

(7) 不安及び不穏 ①強度の不安・恐怖感 ②強迫体験 ③心的外傷に関連する症状 ④解離・転換症状  
⑤その他 ( )

(8) てんかん発作等（けいれん及び意識障害） ①てんかん発作 過去2年間の頻度 ( \_\_\_\_\_ 回/月又は \_\_\_\_\_ 回/年 )  
発作区分 ア意識障害はないが、随意運動が失われる発作 イ意識を失い、行為が途絶するが、倒れない発作  
ウ意識障害の有無を問わず、転倒する発作 エ意識障害を呈し、状況にそぐわない行為を示す発作  
最終発作 ( \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日) ②意識障害 ③その他 ( )

(9) 精神作用物質の乱用及び依存等 現在の精神作用物質の使用 有・無（不使用の場合その期間 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月から）  
①アルコール ②覚醒剤 ③有機溶剤 ④その他 ( )  
ア乱用 イ依存 ウ残遺性・遅発性精神病性障害(状態像を該当項目に再掲すること) エその他 ( )

(10) 知能・記憶・学習・注意の障害  
①知的障害（精神遅滞） [ ア軽度 イ中等度 ウ重度 ] 療育手帳（有、無、等級等 \_\_\_\_\_ ）  
②認知症 [ ア軽度 イ中等度 ウ重度 ] ③その他の記憶障害 ( \_\_\_\_\_ )  
④学習の困難 ア読み イ書き ウ算数 エその他 ( \_\_\_\_\_ )  
⑤遂行機能障害 ⑥注意障害 ⑦その他 ( \_\_\_\_\_ )

(11) 広汎性発達障害関連症状 ①相互的な社会関係の質的障害 ②コミュニケーションのパターンにおける質的障害  
③限定した常同的で反復的な関心と活動 ④その他 ( \_\_\_\_\_ )

(12) その他 ( \_\_\_\_\_ )

**⑤ ④の病状・状態像の具体的程度・症状、検査所見等を記載してください。**

[検査所見：検査名、検査結果、検査時期]

**⑥ 生活能力の状態（保護的環境でなく、例えばアパート等で単身生活を行った場合を想定して判断してください。児童の場合は、年齢相応の能力と比較の上で判断してください。）**

1 現在の生活環境 \_\_\_\_\_ 入院・入所（施設名 \_\_\_\_\_）・在宅（ア単身・イ家族等と同居）・その他（ \_\_\_\_\_ ）

2 日常生活能力の判定（該当する箇所を○をしてください。）

	自発的にできる	自発的にできるが援助が必要	援助があればできる	できない
(1)適切な食事摂取				
(2)身の清潔保持・規則正しい生活				
	適切にできる	おおむねできるが援助が必要	援助があればできる	できない
(3)金銭管理と買い物				
(4)通院と服薬(要・不要)				
(5)他人との意思伝達・対人関係				
(6)身の安全保持・危機対応				
(7)社会的手続きや公共施設の利用				
(8)趣味・娯楽への関心、文化的社会的活動への参加				

3 日常生活能力の程度（該当する番号を選んで、どれか一つを○で囲んでください。）

(1) 精神障害を認めるが、日常生活及び社会生活は普通にできる。  
(2) 精神障害を認め、日常生活又は社会生活に一定の制限を受ける。  
(3) 精神障害を認め、日常生活に著しい制限を受けており、時に応じて援助を必要とする。  
(4) 精神障害を認め、日常生活に著しい制限を受けており、常時援助を必要とする。  
(5) 精神障害を認め、身の回りのことはほとんどできない。

◎前回診断書記載時と比較して、日常生活能力の状態について下記に○をしてください。  
【前回に比し、改善 不変 悪化 不明】

**⑦ ⑥の具体的程度・状態等**

**⑧ 現在の障害福祉等のサービスの利用状況**

(1) 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（平成17年法律第123号）に規定する①～⑦のサービス（該当する項目を○で囲み、利用回数を記入してください。）

① 自立訓練（生活訓練）【 \_\_\_\_\_ 回/週又は \_\_\_\_\_ 回/月】 ② 共同生活援助（グループホーム）  
③ 居宅介護（ホームヘルプ）【 \_\_\_\_\_ 回/週又は \_\_\_\_\_ 回/月】 ④ その他の障害福祉サービス（ \_\_\_\_\_ ）【 \_\_\_\_\_ 回/週又は \_\_\_\_\_ 回/月】  
⑤ 訪問看護【 \_\_\_\_\_ 回/週又は \_\_\_\_\_ 回/月】 ⑥ 訪問指導【 \_\_\_\_\_ 回/週又は \_\_\_\_\_ 回/月】 ⑦ デイケア【 \_\_\_\_\_ 回/週又は \_\_\_\_\_ 回/月】

(2) 生活保護の 有・無（○で囲んでください。）

(3) その他 ( \_\_\_\_\_ )

**⑨ 備考**

上記のとおり、診断します。 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

医療機関所在地 \_\_\_\_\_ 診療担当科名 \_\_\_\_\_  
名 称 \_\_\_\_\_ 医師氏名 \_\_\_\_\_  
電 話 番 号 \_\_\_\_\_

**※自立支援医療の審査も同時に必要とされる場合は、下記も合わせてご記入ください。**

治療方針（薬物療法・精神療法等）等 \_\_\_\_\_

主たる病名（ICDコード）が F00～F39、G40 以外の場合ご記入ください。

(1) 自立支援医療費（精神通院医療）支給判定指針に基づき、上記症状が重度であり計画的・集中的な通院医療が必要であると判定されますか。  
 判定される  判定されない

(2) 医師の略歴  
 精神保健指定医  3年以上精神医療に従事した経験がある